



10月7日～11日までの5日間、一関工業高校土木科の生徒3名（2年生）がインターンシップ実習で一関出張所を訪れました。管内の工事現場や河川管理施設、岩手・宮城内陸地震の復旧工事現場、胆沢ダムなどで実習しました。皆さん熱心に取り組んでいました。今後の進路選択の一助になれば幸いです。

実務体験

一関遊水地舞川水門新設工事



鉄筋組立て検査立会いの様子

一関遊水地第3遊水地管理用通路工事



自動追尾トータルステーションによる測量の様子

インターンシップ

操縦体験



大型遠隔式草刈機操縦の様子

一関遊水地展望台

河川調査



調査船からの調査の様子

磐井川石畑排水樋門

あいぽーと



災害対策室の役割について学習

市野々原被災地展望広場



初期越流堤について学習



河川施設について学習



震災復旧について学習

実習生の感想（抜粋）

- ◆ 全体を通して学校では感じる事ができない工事現場の雰囲気を感じる事ができ、とても良い経験になりました。これを就職活動にも活かしていきたいです。
- ◆ 国土交通省が行っている仕事の内容について詳しく知ることができた。インターンシップを通してとても勉強になった事が多かったので、学校の授業や将来に役立てていきたいです。
- ◆ 普段の学校生活ではできないような体験を通して、国土交通省にも興味を持てたのでこれからの就職活動などに活かしていけるようがんばりたいです。

編集後記

職場体験、懐かしいですね。もう10年以上前だなんて…☺未来の可能性が無限大に広がっている高校生のみなさん、今しかできないことにどんどん挑戦してください！（ま）